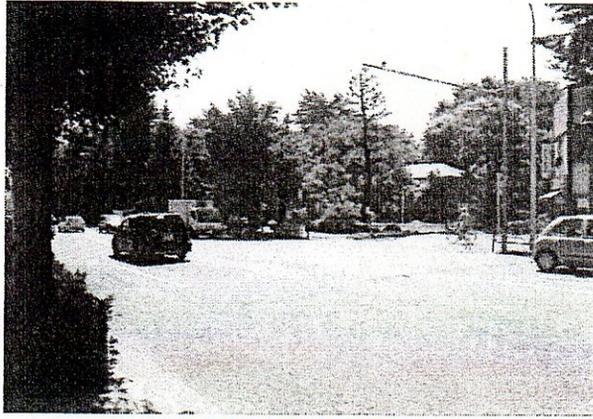


高円寺村の一里塚

原田 弘

昔、蚕糸の森公園の処に一里塚があつたと言われています。

一里塚とは江戸時代の初めから主要街道に道路距離基準点として一里ごとに土盛した塚を築いたものです。



青梅街道と蚕糸の森公園

これは豊臣秀吉がすでに三十六町を一里と定めたもの、それを家康、秀忠が引継いで実行にうつしたものです。その道路整備と一里塚などは重臣で土木工事の権威者であつた大久保石見守長安に総監督者として任命しました。この一里塚の考えは中

国魏の時代に始まったのを真似したといわれています。

青梅街道には、高円寺村の次の一里塚として荻窪の四面道の八丁(地名)寄りの地点に築かれていたが本来は日本橋を基点とし各五街道に築かれたもの、従つて甲州街道は官道として今の下高井戸一丁目附近にあつたそう、その道標の礎石が戦前まであつたと言われています。

丁度高井戸宿が設けられていた場所です。



西ヶ原の一里塚

蚕糸の森公園附近にあつた一里塚については文政年間(一八二〇年頃)に出版された「武蔵名所図絵」とい

う本によると、高円寺村の一里塚とし、すでに榎も枯れ、その朽木の跡すらわからないという原型をまったく留めないくらい荒廃していたと記されています。きつと全国的に築かれていた塚の管理は難しかったのではないかと思います。



区役所前のサイカチの木 (手前の木)

その証拠に現在都内に完全な姿で残されているのは北区滝の川の西ヶ原という処が唯一のもので、道路のほぼ真ん中当りにあつて十メートル四方くらいの土盛の上に榎が植えられて、江戸時代の道路交通史の貴重な研究資料として史蹟の指定をうけ保存されています。一里塚の処には

お茶屋などがあり旅人が休息したり馬継ぎなどの場所にもなっていました。

なお、区役所の前にサイカチの木の三世が植わつてますが、ここは高円寺村と荻窪村の丁度中程にあたり半里塚ともいえる休憩地点、たつたと思ひます。

原田 弘 氏

杉並郷土史会会長・(元)日本歴史学会会員・杉並区文化財保護指導員・日本ペンクラブ会員

♡お仲間になりませんか♡

グループ名	由記益子の会
練習日	毎週第2、第4火曜日 午後1時～4時
講師名	斉藤 由記
代表者名 (連絡先)	えのもと たかこ 榎本 孝子 03 (3313) 8855
ひとこと	自分の器を、自分の手で・・・

次号151号は
11月20日
発行予定です